

# 食道癌に対するロボット支援食道切除率

## ● 説明

手術支援ロボットを用いた食道癌に対する食道切除は2018年より本邦で保険収載され、普及しつつあります。その利点として緻密な操作による合併症発生の軽減が期待されます。本指標は当院で施行する全食道切除症例においてロボット支援食道切除症例が占める割合です。

## ● 計算式

$$QI = \frac{\text{ロボットを用いた食道切除の実施件数}}{\text{食道切除の実施件数}} \times 100$$

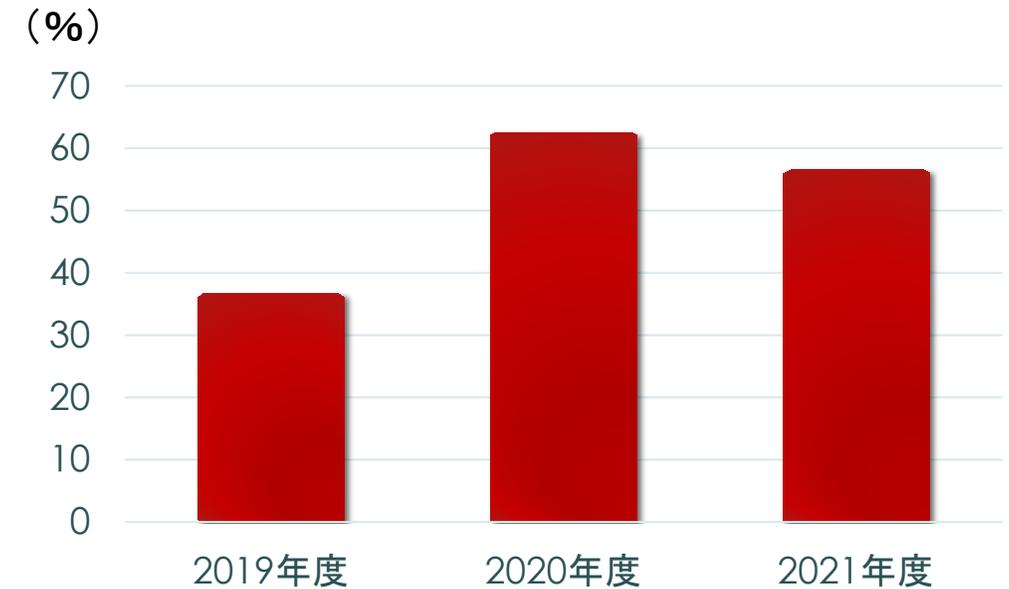
## ● 目標

腫瘍の進行度など適応をよく考え、前年より約5%増加の65%を目標とします。

## ● 計画

全ての症例がロボットで行える訳ではなく、手術の安全な施行を最優先とし、慎重な判断のもとロボット手術の適応を拡大して行く予定です。

## ● 実績



## ● 評価

2018年より2020年まで本指標は経年的に増加傾向であったが、2021年度はCOVID19蔓延の影響もあり総手術件数が減り、ロボット手術の施行割合も足踏み状態でした。2022年度は8月時点でのロボット手術施行割合が約60%であり、目標到達に向けて進めていきます。